

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間 9：00～17：00（土日休日を除く）
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載 URL（ https://www.sunwa.co.jp/ir_info/index.html ）

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



第73期株主通信

自 2020年4月1日 至 2021年3月31日



変化する時代と市場のニーズを先取りし グループ一丸で「NEXT 1800」を完遂する

代表取締役社長 田中 裕之

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の事業環境につきましては、昨年4月に新型コロナウイルス感染拡大による1回目の緊急事態宣言が発出され、企業活動の抑制に伴う製造業各社の国内設備投資の先送りや生産調整により大変厳しい事業環境に置かれていましたが、当社グループの主力事業である産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界では、早期に中国市場が立ち上がり、FA・産業機器、半導体製造装置関連市場の持ち直しとともに国内市場も回復基調に転じました。一時生産台数が減少し低迷していた自動車関連も、安全装置やADAS(先進運転支援システム)など車載機器関連の受注がいち早く回復し、下期は順調に推移しました。また、主力分野の売上回復とあわせて、出張・展示会の減少や、働き方改革を含めた業務効率化による管理コストの削減効果もあり、前年同期を上回る営業利益を

確保することができました。

当期の利益配当につきましては、株主の皆様への日頃のご支援に報いるべく、期末配当を1株当たり17円として、中間配当(17円)と合わせ、年間配当を34円とさせていただきます。当社では今後も株主の皆様への安定配当の継続を目指してまいります。

コロナ禍の逆風に打ち勝つ 3つの取り組み

当社では約1年にわたり、全社的に新型コロナウイルス感染予防対策をハード面で整備するとともに、勤務体制もテレワークや時差出勤など、緊急事態宣言再発出などの社会情勢を踏まえて柔軟に対応してきました。テレワークによるIT基盤の利活用に関しては、コロナ禍以前から社内ITインフラ「SIS2018」の基盤整備や、働き方改革を目的とするIT設備投資を完了していたこともあり、コロナ禍における新しい生活様式は円滑に浸透・定着しました。

世界規模で経済・産業活動が停滞した昨年度において、当社では主に3つの施策を実行しました。1つ目は全社員が営業の第一線にいる意識を持つことです。その具体策として内勤者も含め部店の枠組みを超えて、お取引先様各社が開発した感染症対策関連商品の拡販に全社一丸で取り組み、空間除菌消臭装置や深紫外除菌製品、抗菌非接触温度センサーをはじめとする多彩な製品の受注拡大につなげました。

2つ目は、DX(デジタルトランスフォーメーション)(※1)によるバックオフィスの強化と当社の伝統であるお客様とのface to faceによる接点の近接化です。各地域でお客様に密着してきめ細やかにニーズに対応する少数精鋭の営業所を長岡(新潟県)と甲府(山梨県)に開設し、各営業所を管掌する支店がバックヤードとしてITを駆使し営業の第一線をサポートする、当社の“ニューノーマル”とも呼べる新たな仕組みを構築しました。今年も金沢(石川県)と東北エリアへの拠点開設を計画しています。また、海外においても同様のコンセプトでペナン(マレーシア)と廈門(中国)に営業拠点を開設しており、今後はグローバル事業における当社独自のビジネススタイルとして定着させていきたいと考えています。そして3つ目は、働き方改革を志向するリモートワークの浸透にあわせた業務効率化による管理コスト削減です。これら3つの施策は、いわばコロナ禍という難局をチャンスに変えた取り組みであり、大きな成果です。

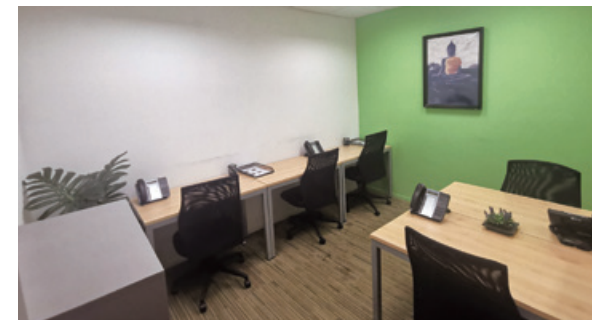
※1 企業がデータやデジタル技術を活用し、組織やビジネスモデルを変革し続け、価値提供の方法を抜本的に変えること。

時代ニーズを大局的に捉え グレートリカバリーを目指す

第10次中期経営計画「NEXT 1800」の最終年度は、「グレートリカバリー(大回復)に向けた新たな挑戦」をスローガンに掲げました。昨年度からの取り組みを全社でさらに強



甲府営業所 開所式、執務室



廈門事務所 執務室

化し、コロナ禍の克服とニューノーマル市場の獲得や、DXを活用した戦略の構築とその実施体制の完成、そして既存ビジネスの深耕による確実な成果のアウトプットと新規ビジネスの開拓、および事業ポートフォリオの見直しを方針・重点施策として計画完遂を目指します。

コロナ禍で縮小した従来ビジネスの売上を回復させるだけでなく、加速する省人化ニーズ(ロボット化・自動化)を含め、コロナ禍を機とする時代変化の過程で生まれた新たなジャンルや、5G・カーボンニュートラル(※2)への対応としてのEV化、再生エネルギーなど、新しいビジネス領域に挑戦します。5Gではデータセンターなどのメモリ機器や、コネクテッドカーやEV化に必要な半導体関連などのビジネスが期待できます

が、すでに当社では工場など特定エリアでのローカル5Gビジネスが動き始めています。また、従来のFA・産業機器分野の中からでも、カーボンニュートラルの観点から大いに成長が見込めます。さらにその新たな時代のニーズの切り口で市場を見直すことにより、今後当社が攻めるべき“新しい景色”が見えてくると考えています。

※2 温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること。昨年10月、菅義偉内閣総理大臣が2050年までの実現を目指すと宣言。

組織力と多彩な取り組みで 成長し続ける企業へ

当社では「NEXT 1800」最終年度のスタートにあたり、先述した取り組みの事業基盤強化を目的に組織変更を実施しました。集中購買を志向されるグローバル企業への拡販に取り組む2つの顧客戦略部を統合して「広域顧客営業部」を発足し、顧客特化型のアプローチを強化してまいります。



た、お客様の製造拠点移管サポートビジネスなどでの協業強化を目的に、「グローバルSCMソリューション部」と当社海外現地法人の取り組みを支援する「国際営業部」を統合して、グローバルサービス体制を強化しました。さらに、健康や省エネニーズから伸長しているAEDやLEDのビジネスに取り組むエコ・ニューライフサポート部を「ライフ・ファシリティ推進部」に再編し、社会貢献を目的に収益の一部をコロナ医療福祉支援に充てているAEDの拡販と、LEDなどのファシリティビジネスの両輪で事業を強化していきます。

一方、来年度からスタートする第11次中期経営計画については、経営方針の徹底と経営判断の迅速化を図ることを目的に、今年6月に発足した「経営戦略室」が中心となり、実効性と夢のある中期経営計画の策定を進めてまいります。

持続可能な社会・企業を目指すSDGs(※3)への貢献では、2019年6月の「SDGs推進委員会」設立後、勉強会を経て各店でアンバサダーを選任し、今年4月から部店や個人の目標を開示して社内浸透を図っています。今後、SDGsやESG(※4)投資へのコミットメント拡大とともに、カーボンニュートラルへの取り組みを強化し、企業としての社会的価値をさらに高めていきたいと思ひます。また、今年4月に「健康経営優良法人2021」の認定を取得しましたが、継続的に社員の健康に配慮する企業として今後も活動を推進していきます。

当社では引き続き、グループ一丸で諸施策を実行し、企業価値向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※3 2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に明記された2030年までの国際目標。

※4 環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取った用語。

第10次中期経営計画（2019年度～2021年度）

NEXT1800

サンワビジョン 2025

明る未来を創る サンワテクノスグループ



2019年度 創立70周年のその先へ
独立系技術商社として進化を続け、成長を加速させます

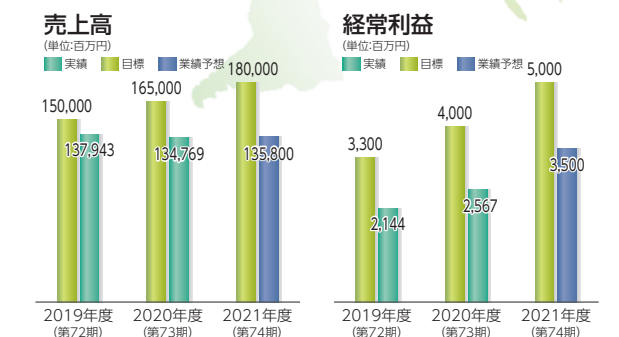
◆方針

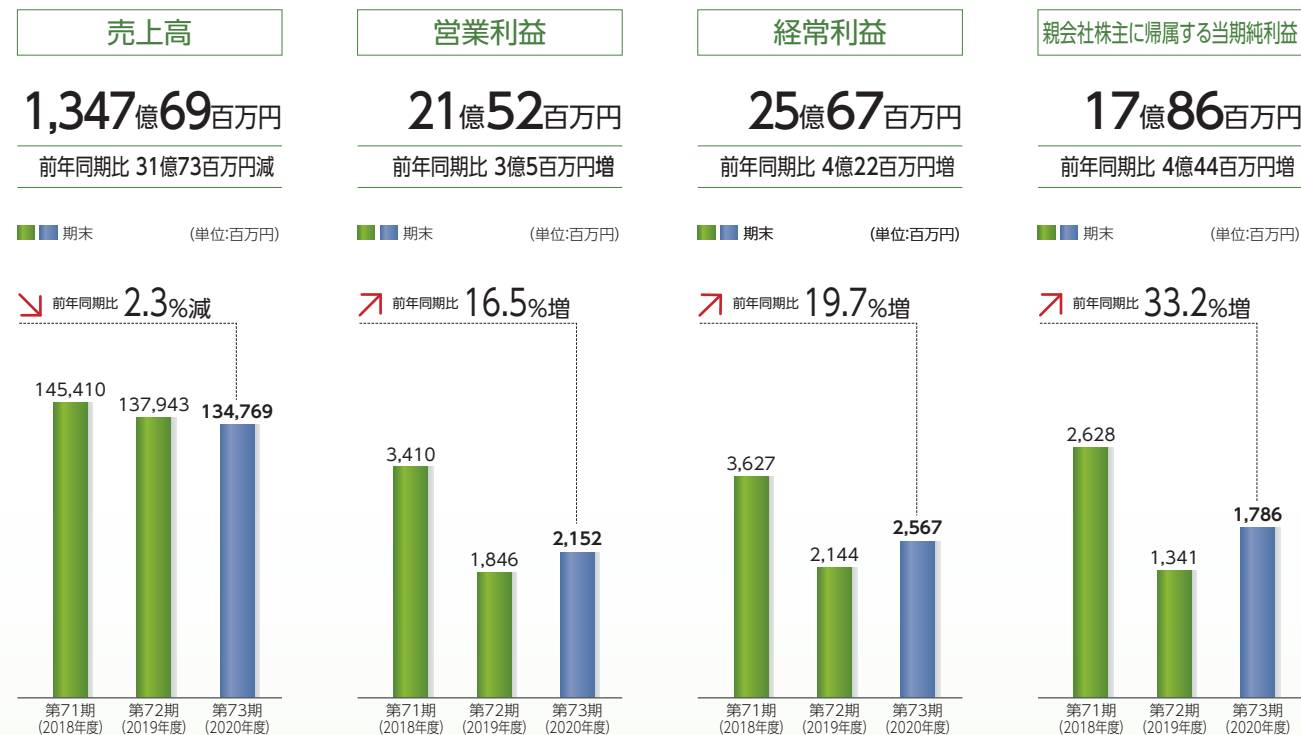
- コアビジネスの強化でお客様のものづくりに貢献する
- グローバル事業を拡大し市場の需要をサポートする
- 新事業領域へ挑戦し持続的成長を加速する
- 持続可能な社会の実現への取り組み

◆実績及び経営目標数値

	(単位:百万円)		
	2019年度実績	2020年度実績	2021年度
売上高	137,943	134,769	180,000
営業利益	1,846	2,152	4,800
営業利益率	1.3%	1.6%	2.7%
経常利益	2,144	2,567	5,000
経常利益率	1.6%	1.9%	2.8%

◆進捗





決算ハイライト

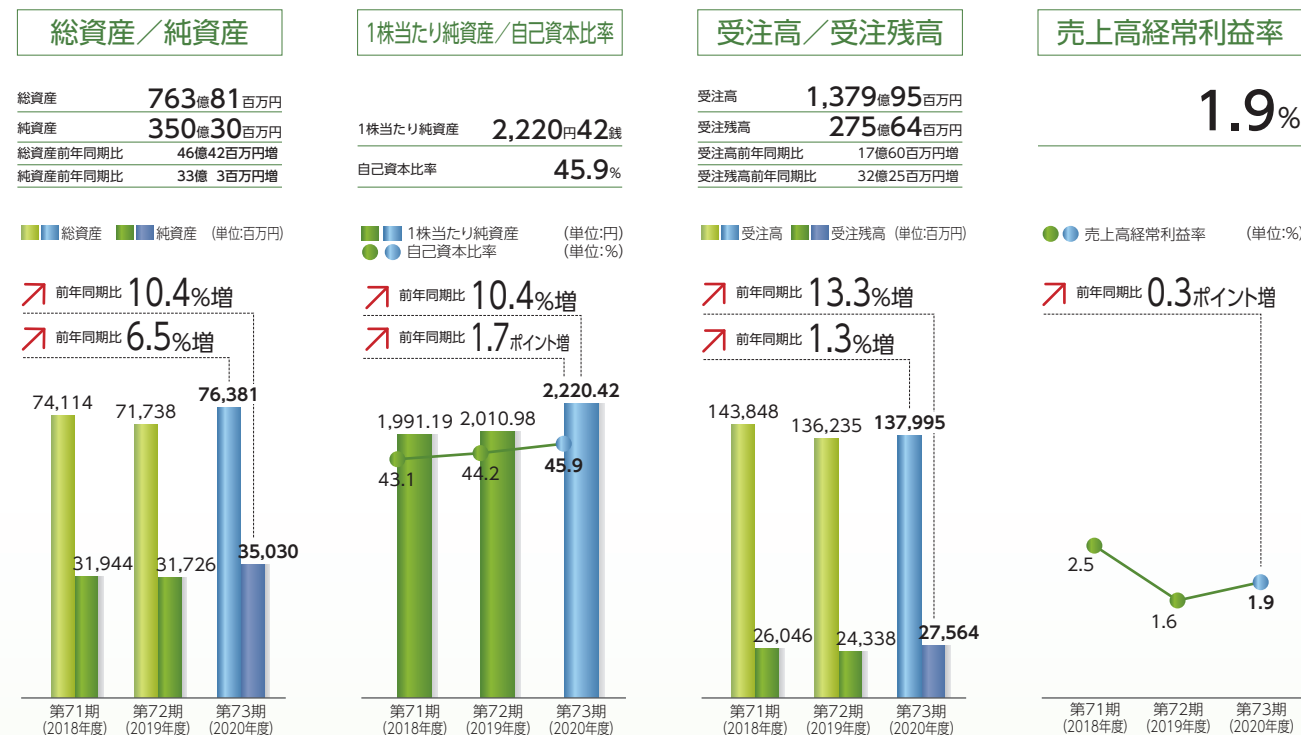
当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、緊急事態宣言が再発出されるなど、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。世界経済については、欧米において、経済活動が段階的に再開されていた中で、再度感染が拡大した影響で限定的な経済活動を強られる一方、中国では、政策の下支え等もあって、景気の回復が続いております。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましても、製造業各社の設備投資の先送りや生産調整など、厳しい状況が継続しましたが、昨年末より半導体関連業界向け及び産業機械業界向けの一部で持ち直しの動きがみられ、一時は低迷してい

た自動車関連搭載向けも、持ち直しの動きがみられました。また、中国での電気自動車(EV)や半導体、高速通信規格「5G」の基地局などへの投資が進んだことで、中国の需要は順調に推移いたしました。

長期化するコロナ禍において、リモートワークやオンラインツールの活用が定着したこと及び、行政による感染防止策に合わせた企業活動の一部自粛などにより、販売費及び一般管理費が減少いたしました。

このような環境の中、当連結会計年度の業績は、売上高は前年同期を下回り、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期を上回る結果となりました。



次期の見通し

次期の見通しにつきましては、経済回復が順調な中国が世界経済の成長を牽引すると見込まれ、高速通信規格「5G」の商用化及び電気自動車：EV化の加速に伴う設備投資などの持ち直しが期待されます。しかしながら、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の収束が見通せないことと、ワクチンの普及ペースや効果の持続性、変異株への効果等、不確定要素も多く、景況に関する先行きは不透明な状況が続くと見込まれます。

第74期 通期業績予想

売上高	135,800百万円	(前年同期比0.8%増)
営業利益	3,430百万円	(前年同期比59.4%増)
経常利益	3,500百万円	(前年同期比36.3%増)
親会社へ帰属する当期純利益	2,250百万円	(前年同期比26.0%増)
1株当たり当期純利益	142円62銭	

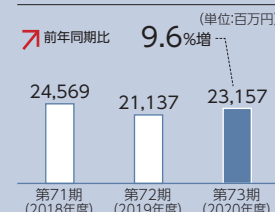
(注1) 業績予想につきましては、2021年5月7日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

(注2) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該基準(有償支給取引に係る売上高の純額表示等)を適用した後の金額となっております。

電機部門



売上高
231億57百万円
前年同期比 20億19百万円増



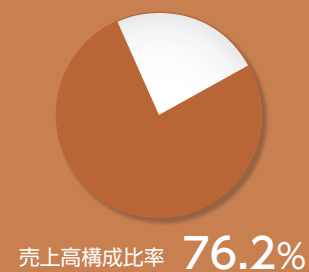
電機部門では、産業機械業界向けの電機品の販売が増加いたしました。

主な営業品目

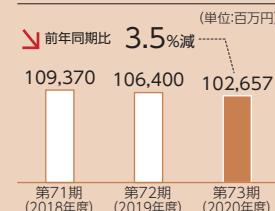
ACサーボモータ、リニアモータ他各種モータ、インバータ、マシンコントローラ、マシンビジョンシステム、半導体製造装置用クリーンロボット・真空ロボット、パワーコンディショナ、受変電設備及び工事等



電子部門



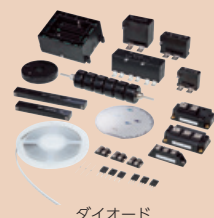
売上高
1,026億57百万円
前年同期比 37億42百万円減



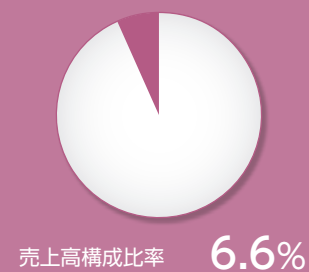
電子部門では、産業機械業界向けの電子部品の販売は増加いたしました。アミューズメント業界向けの電子部品の販売が減少いたしました。

主な営業品目

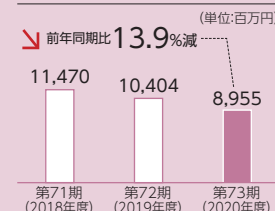
電源、コネクタ、半導体、センサ、小型ファン、LED（発光ダイオード）、LCD（液晶ディスプレイ）、タッチパネル、産業用パソコン、CPUボード、メモリモジュール等の各種電子部品及び機器等



機械部門



売上高
89億55百万円
前年同期比 14億49百万円減



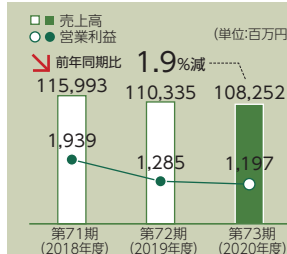
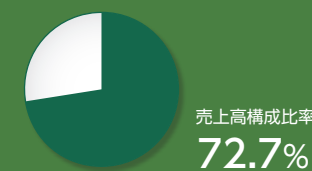
機械部門では、産業機械業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。

主な営業品目

半導体関連製造設備、産業用ロボット、液晶・パネル搬送用クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、風水力機器、空調・厨房設備、環境保護機器及び装置、各種検査装置、医療機器等



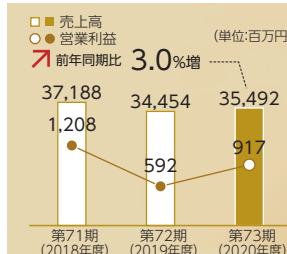
日本



売上高 **1,082億52百万円** (前年同期比 20億83百万円減)
営業利益 **11億97百万円** (前年同期比 88百万円減)

国内では産業機械業界向け及び半導体関連業界向けの電機品、産業機械業界向けの電子部品の販売は増加いたしました。アミューズメント業界向けの電子部品、産業機械業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。

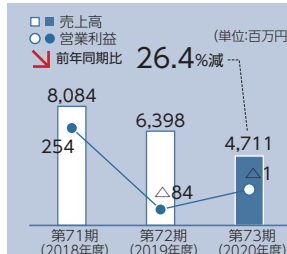
アジア



売上高 **354億92百万円** (前年同期比 10億38百万円増)
営業利益 **9億17百万円** (前年同期比 3億25百万円増)

アジア地域では、産業機械業界向けの電機品及び電子部品の販売が増加いたしました。アミューズメント業界向けの電子部品の販売が減少いたしました。

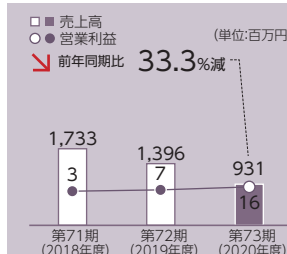
欧米



売上高 **47億11百万円** (前年同期比 16億86百万円減)
営業利益 **△1百万円** (前年同期比 82百万円増)

欧米では、アミューズメント業界向けの電子部品の販売が減少いたしました。

その他 ※



売上高 **9億31百万円** (前年同期比 4億64百万円減)
営業利益 **16百万円** (前年同期比 8百万円増)

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

(注1) 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
(注2) 上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む売上高で表示しております。

ヨーロッパ

SUN-WA TECHNOS (EUROPE) GmbH
フランクフルト

リュブリャナ

アメリカ・メキシコ

グリーンビル
(サウスカロライナ)

シカゴ

ロサンゼルス

ケレタロ

SUN-WA TECHNOS AMERICA, INC.
SUN-WA TECHNOS MEXICO S.A. DE C.V.

中国・香港・台湾

天津
大連
瀋陽

蘇州

上海

上海メカトロセンター

深圳

広州

廈門

杭州

台北

台中

台南

香港

香港物流センター

SUN-WA TECHNOS (H.K.) CO., LTD.
SUN-WA TECHNOS (TAIWAN) CO., LTD.
SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO., LTD.
SUN-WA TECHNOS (SHENZHEN) CO., LTD.

ASEAN

ハノイ

バンコク

ホーチミン

マニラ

ペナン

クアラルンプール

シンガポール

ジャカルタ

SUN-WA TECHNOS (SINGAPORE) PTE LTD.
SUN-WA TECHNOS (MALAYSIA) SDN.BHD.
SUN-WA TECHNOS ASIA (THAILAND) CO., LTD.
PT. SUNWA TECHNOS INDONESIA
SUN-WA TECHNOS (PHILIPPINES), INC.
SUN-WA TECHNOS (VIETNAM) CO., LTD.

国内

サンワテクノス株式会社

長岡営業所

長野営業所

北陸営業所 (富山市)

京都支店

関西支社

大阪支店

姫路営業所

広島営業所

福岡支店

熊本営業所

長崎営業所

九州サービスセンター

大分営業所

四国営業所 (新居浜市)

サンワトリニティ株式会社

サンワロジスティック株式会社

東京西支店 (八王子市)

北関東支店 (さいたま市)

東北営業所 (仙台市)

本社
関東支社

東京サービスセンター

横浜支店

沼津営業所

甲府営業所

名古屋サービスセンター

浜松営業所

三河支店 (刈谷市)

名古屋支社

三重営業所 (四日市市)

各拠点の住所と連絡先は当社ホームページ「拠点」をご覧ください。

<https://www.sunwa.co.jp/>

サンワテクノス

検索

連結貸借対照表

(単位：百万円)		
科目／期別	前期 2020年3月31日現在	当期 2021年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	62,713	64,430
固定資産	9,024	11,951
有形固定資産	2,759	2,590
無形固定資産	193	170
投資その他の資産	6,072	9,190
資産合計	71,738	76,381
(負債の部)		
流動負債	35,402	36,372
固定負債	4,608	4,978
負債合計	40,011	41,350
(純資産の部)		
株主資本	29,552	30,802
その他の包括利益累計額	2,174	4,228
純資産合計	31,726	35,030
負債及び純資産合計	71,738	76,381

連結損益計算書

(単位：百万円)			
科目／期別	前期 2019年4月1日 2020年3月31日	当期 2020年4月1日 2021年3月31日	皇 2021年3月31日
売上高	137,943	134,769	
売上原価	123,521	120,545	
売上総利益	14,421	14,224	
販売費及び一般管理費	12,574	12,071	
営業利益	1,846	2,152	
営業外収益	466	522	
営業外費用	168	107	
経常利益	2,144	2,567	
特別利益	75	7	
特別損失	130	62	
税金等調整前当期純利益	2,089	2,513	
法人税、住民税及び事業税	820	815	
法人税等調整額	△ 72	△ 88	
当期純利益	1,341	1,786	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,341	1,786	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)			
科目／期別	前期 2019年4月1日 2020年3月31日	当期 2020年4月1日 2021年3月31日	皇 2021年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,238	1,589	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 200	△ 141	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 945	△ 309	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 45	△ 77	
現金及び現金同等物の増減額	2,047	1,061	
現金及び現金同等物の期首残高	9,521	11,568	
現金及び現金同等物の期末残高	11,568	12,629	



会社の概要

(2021年3月31日現在)

商号	サンワテクノス株式会社
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18F
設立年月日	1949年11月4日
資本金	37億2,700万円
発行済株式の総数	16,044,000株
従業員数	604名（連結1,043名）
ホームページ	https://www.sunwa.co.jp/
事業内容	メカトロニクス関連電気機器及び装置、プラント 用電気品、電気設備機器の販売及び電気設備工事 各種電子部品・電子機器、各種OA機器、FA システム、通信・情報機器等の販売 半導体関連製造設備、産業用ロボット、クリーン ロボット、基板関連装置、物流搬送装置、風水力 機器、各種検査装置、医療機器等の販売

株式の状況

(2021年3月31日現在)

1. 発行可能株式総数 33,380,000株
2. 発行済株式の総数 16,044,000株
3. 株主数 4,561名
4. 大株主

株主名	持株数 株	持株比率 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	877,300	5.56
株式会社安川電機	797,280	5.05
第一生命保険株式会社	729,960	4.62
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	694,000	4.39
光通信株式会社	690,600	4.37
株式会社オリジン	498,000	3.15
オークマ株式会社	435,600	2.76
山田 益二郎	397,400	2.51
株式会社りそな銀行	395,160	2.50
株式会社三菱UFJ銀行	395,160	2.50

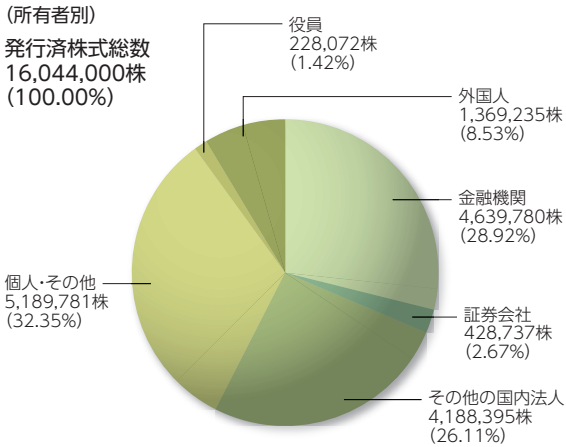
(注)「持株比率」は自己株式(267,312株)を控除して計算しております。

役員

(2021年6月25日現在)

取締役 代表取締役会長 代表取締役社長 社長執行役員 取締役専務執行役員 取締役上席執行役員 取締役上席執行役員 取締役執行役員 社外取締役 社外取締役 取締役(常勤監査等委員) 社外取締役(監査等委員) 社外取締役(監査等委員)	山田 三松上平青草花中上 本根尾坂野木苑山村野 勢省一郎広昭士徳郎八男啓 裕晶秀隆眞一一康 高宮越玉西 松崎後木田 賢一洋克勝 治彦一也幸
執行役員 上席執行役員 執行役員 執行役員 執行役員	

5. 株式の分布状況



● 事務所開設（長岡営業所、甲府営業所）のお知らせ

当社は、このたび以下の通り長岡営業所、甲府営業所を開設いたしました。

長岡営業所

【名 称】サンワテクノス株式会社 関東支社 北関東支店 長岡営業所
【所在地】〒940-0066 新潟県長岡市東坂之上町二丁目1番1号 ファース長岡ビル11階
【開設日】2020年12月7日（月）
【お問い合わせ先】北関東支店 TEL：048-647-7900 FAX：048-647-8511



甲府営業所

【名 称】サンワテクノス株式会社 関東支社 東京西支店 甲府営業所
【所在地】〒400-0032 山梨県甲府市中央三丁目10番14号 TF甲府ビル2階E号室
【開設日】2021年2月8日（月）
【お問い合わせ先】東京西支店 TEL：042-655-6571 FAX：042-655-6577



● 海外子会社事務所開設（ペナン事務所、廈門事務所）開設のお知らせ

当社海外子会社において、このたび以下の通りマレーシアペナン島と、中国福建省廈門市に事務所を開設いたしました。

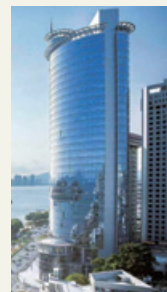
ペナン事務所

【名 称】SUN-WA TECHNOS (MALAYSIA) SDN. BHD. Penang Office
サンワテクノスマレーシア ペナン事務所
【所在地】No 1-12B-03A, Suntech @ Penang Cybercity, Bayan Baru, 11950, Penang, MALAYSIA
【開設日】2021年1月4日（月）
【お問い合わせ先】クアラルンプール事務所 TEL：(+60)3-2282-8230 FAX：(+60)3-2282-8231



廈門事務所

【名 称】珊華電子科技（上海）有限公司 廈門事務所
SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO., LTD. Xiamen Office
上海サンワテクノス 廈門事務所
【所在地】中国福建省廈門市思明区鷺江道8号 国際銀行大廈867室
Room 867, 8/F International Plaza, No.8 Lujiang Road, Siming District, Xiamen, Fujian Province 361001 P.R.C.
【開設日】2021年5月18日（火）
【お問い合わせ先】広州事務所 TEL：(+86)20-8550-1551 FAX：(+86)20-8550-1552



● 個人投資家様向け会社説明会を開催（仙台）



2020年12月5日（土）にTKPガーデンシティ仙台で開催された、ラジオNIKKEI主催「個人投資家向け会社説明会」に参加いたしました。

当日会場では新型コロナウイルス感染症対策として、検温、アルコール消毒を実施し、座席のスペースも十分に空けた上で、約70名の個人投資家の皆様が来場されました。

セミナーは当社IR放送のパーソナリティでもあるラジオNIKKEIの鎌田記者との対談方式で、田中社長より会社概要、第10次中期経営計画「NEXT 1800」、業績、株主様への利益還元について説明いたしました。

当社では、このような会社説明会はもとより、様々なIR活動を通して、投資判断に必要な情報開示を積極的に適時継続して行い、証券市場での知名度向上及び安定的な個人株主の増加を図っております。

なお、当説明会の資料は当社ホームページでご覧いただけます。

▶ <https://www.sunwa.co.jp/ir/library/briefings.html>

■2021年度の開催予定：2022年3月 広島

開催日が近づきましたら、ホームページ（<https://www.sunwa.co.jp/ir/calendar/>）に詳細を掲載いたします。

● IR放送のご案内

IR活動の一環として、ラジオNIKKEIの番組に田中社長が出演しております。
放送内容は当社の事業概要、特徴、業績、第10次中期経営計画「NEXT 1800」など。
なお、ラジオNIKKEIのホームページにて動画の配信も行っております。
（詳細はラジオNIKKEIホームページをご覧ください。<http://www.radionikkei.jp/8137ir/>）

■ラジオNIKKEI 第1 15時25分頃～
「ザ・マネー」内コーナー「サンワテクノスIR特集」
2021年度放送日

第1回 2021年 6月16日(水) 終了	第2回 2021年8月4日(水) 予定
第3回 2021年11月10日(水) 予定	第4回 2022年2月2日(水) 予定

第1回の放送は終了し、オンデマンドで配信中です。



● 「健康経営優良法人2021」認定取得のお知らせ

当社はこのたび「健康経営優良法人2021」の認定を取得いたしました。

「健康経営優良法人」とは、健康経営を推進し、一定の基準を満たした取り組みを行っている法人が認定される制度です。（経済産業省のもと日本健康会議が認定）

当社は健康経営の活動を2018年から開始し、スポーツクラブ提携による利用料金の補助、健康機器購入の会社補助、運動習慣定着のための歩数キャンペーンの開催等、様々な取り組みを行っております。

今後も社員の「健康づくり」を推進し、豊かな社会づくりに貢献してまいります。

